

大阪・上町東遺跡

うえまちひがし

- 1 所在地 大阪府泉佐野市上町二丁目
- 2 調査期間 一九九八年(平10)三月～五月
- 3 発掘機関 泉佐野市教育委員会
- 4 調査担当者 中岡 勝
- 5 遺跡の種類 集落跡
- 6 遺跡の年代 鎌倉時代末期～江戸時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(岸和田)

当遺跡は、中世集落で著名な上町遺跡・市場西遺跡の東に位置する。これまで、掘立柱建物・柵・井戸・土坑・墓壇・溝などからなる鎌倉時代の集落が良好な状態で確認され、瓦器・土師器などの他、多量の櫛の未製品・鉄器・フイゴの羽口といった特殊遺物も出土し、中世工人(職人)の存在が推定されている。

今回、共同住宅建設に伴い一七〇〇㎡を調査した。

検出遺構は、鎌倉時代末～室町時代の掘立柱建物・溝(約六区画)・土坑・落ち込みと、江戸時代の耕作地・井戸である。遺物は、建物・区画溝などから瓦器・土師器・土師質土器・瓦質土器・瓦が出土した。木簡が出土した井戸SE〇一は、直径一八〇cm深さ約三〇〇cmの素掘りタイプである。木簡は、最下層の灰色粘土より、軒丸瓦・肥前磁器碗・土師質羽釜・木片など近世の遺物とともに投棄された状態で出土したので、近世のものであろう。

8 木簡の釈文・内容

- (1) ・□□ 市場 四郎兵衛

・□□

150×23×5 011

墨書の遺存状態は悪い。上・下端とも未調整のままである。材上部に押圧線の痕跡が数条認められ、付札木簡の可能性が高い。職人を想起させる遺物と「市場」の記載から、当遺跡周辺が『政基公旅引付』に記載される「佐野市場」である可能性が高くなった。

9 関係文献

泉佐野市教育委員会「上町東遺跡九七―三区の調査」(一九九九年)

(中岡 勝)

